



四国地域コミュニティビジネス推進協議会設立記念セミナー「わたしとあなたが暮らすまちで」が2月11日今治国際ホテルで盛大に開催。

を握り社会システムやライフスタイルを構築し社会に提案すれば四国の時代になるのではないか」「そのため地域住民が積極的に活動できるコミュニティビジネスを支援する協議会の設立を決議させて頂きました」と挨拶。



パネルディスカッションで、右より大南理事長（NPO法人グリーンバレー）、大崎監事（高知大学）、安井室長（今治市企画課政策研究室）。



パネルディスカッションで、右より辻駒会長（川根振興協議会）、藤目教授（愛媛大学法文学部）、徳増局長（四国経済産業局）。

フォーラム

四国地域コミュニティビジネス推進協議会設立記念セミナーが今治国際ホテルで四国経済産業局・ループ88四国が主催して開催
「わたしとあなたが暮らすまちで」をテーマにして：



盛況のフォーラムで、右より徳増局長（経済産業局）、大塚審議官（大臣官房審議官）、森理事長（ループ88四国）。

続いてパネルディスカッションに移り徳増局長により藤目節夫教授（愛媛大学文学部）、大南信也理事長（NPO法人グリーンバレー）、安井孝室長（今治市企画課政策研究室）、大崎博澄監事（高知大学）、辻駒健二会長（住民自治組織川根振興協議会）らが紹介され藤目教授はコミュニティビジネスの特徴や期待される効果、成立の必須条件を基に内子町のまちづくりや農家中心の運営「からり」の設立経緯や活動をパネルや写真を用いて紹介した。

辻駒会長は広島県北部の山間地域の川根と行政との連携について話し「自らの地域は自らの手で」とした地域活動の一人一日基金を財源に一人暮らし高齢者の訪問や小学生と高齢者間との交流など写真を用いて紹介した。

安井室長は今治市が都会から田舎体験を求めて来る農家民宿や農家の方々が提供する農産物で運営する愛の地産地消レストランなど「ニーズを作ればコミュニティビジネスのローカルマーケットが誕生する」と語り紹介した。

大崎監事は日本の教育について「教育の原点に立ち戻り枠内で考えず社会全体で子供達を育てる」と力のある社会（コミュニティ共同体）を説明した。

大南理事長は徳島県神山町は外国人アートを招き寄る宿舎・アトリエを無償で貸し住民と人をコンテンツにした地域づくりを紹介した。

フリーディスカッションに移ると様々な地域活性化への議論を交えセミナーは盛況を極めた。



徳島の山間にある小さな漁村「伊座利の未来を考える推進協議会」を運営する草野裕作氏がフリーディスカッションで…。



パネルディスカッションで地域の様々な特徴や活動、コミュニティビジネスを紹介した。